

子どもの新たな 体験活動創出と 地域の再発見

NPO法人 ひと・まちなっとわーく
水戸市教育委員会 生涯学習課
水戸市総合教育研究所

NPO法人ひと・まちなっとわーく : 活動内容



指定管理施設の管理運営

【令和3年度～7年度・5年間】	【令和3年度～5年度・3年間】
茨城県県南生涯学習センター  <p>JR土浦駅前の「ウララビル」の5階・6階にあり、主に県南地域の生涯学習の振興を図る中核施設として、市町村や関係機関等と連携し、学習情報や学習機会の提供、学習活動の場の提供等多様な事業を行っています。</p> <p>所在地 〒300-0036 土浦市大和町9-1 ウララビル5階 TEL 029-826-1101 FAX 029-826-1728 URL http://www.kennan.gakusyu.ibk.ed.jp/ E-mail info@kennan.gakusyu.ibk.ed.jp</p>	茨城県立白浜少年自然の家  <p>北浦湖畔の高台に位置し、森林に囲まれた風光明媚な場所にあります。子どもたちが、豊かな自然体験や仲間との交流体験を通して健全に成長できるよう、研修の場を提供するとともに、様々な体験活動事業を行っています。</p> <p>所在地 〒311-3823 行方市白浜1466 TEL 0299-73-2345 FAX 0299-73-0031 URL http://www.shirahama.gakusyu.ibk.ed.jp/ E-mail shirahama@shirahama.gakusyu.ibk.ed.jp</p>

新しい体験活動が必要な理由

新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により、子どもの体験活動の不足

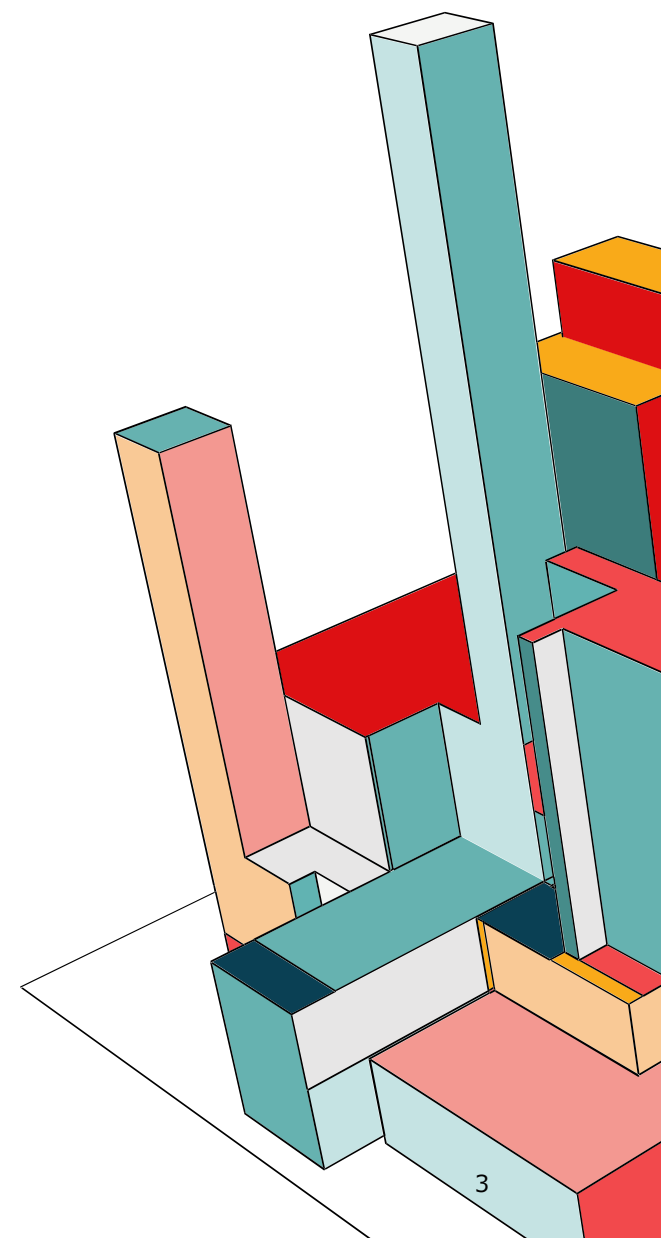
学校における体験活動の減少により、
様々な影響が出ていると言われている

体験活動を、子どもの自主性や主体性を尊重するなどの見直し

旧態よりある、宿泊学習などの自然体験や
生活体験学習の在り方を、見直す必要性
があるとの現場の声

地域としての受け入れ側である水戸市内の活性化

商店街や工場など、様々な場所で子ども
たちが活動し、子どもたちの新たな認識が
できる場を設定するなどにより、受け入れ側
である水戸市内の意識変革のきっかけを作る





新しい体験活動とは①

現状の体験活動

- ・宿泊学習の活動計画は、教師が考えたものや施設で提供できるものが中心で子どもたちが主体的に計画した活動が少ない
- ・活動は「宿泊体験」、「自然体験」、「生活体験」が中心で「社会体験」などの活動は少ない
- ・1泊2日の日程の中で、宿泊施設内の活動が中心



新しい体験活動とは②

水戸市の「まちなか」で実施する

1泊2日の日程の中の1日の体験活動を、宿泊施設だけではなく、予め決めた水戸市の「まちなか」にて実施。子どもたちが選んだ体験の種類やコース、また移動手段なども自分たちで主体的に計画、実行する。

体験の種類

SDGsの考えを基に、歴史・生活・文化・外国・防災・福祉・スポーツ・自然・創作・職業・芸術・農業・環境・ITなどが考えられるが、初年度はこの中からモデル的に選択して行う。

クラス単位ではなく、数人のグループ単位で行動する

計画段階より数人のグループを単位に活動し、新型コロナ対策にも配慮をする。また、小グループにすることで受動的な参加ではなく、個々の能動的、積極的な機会を促す。

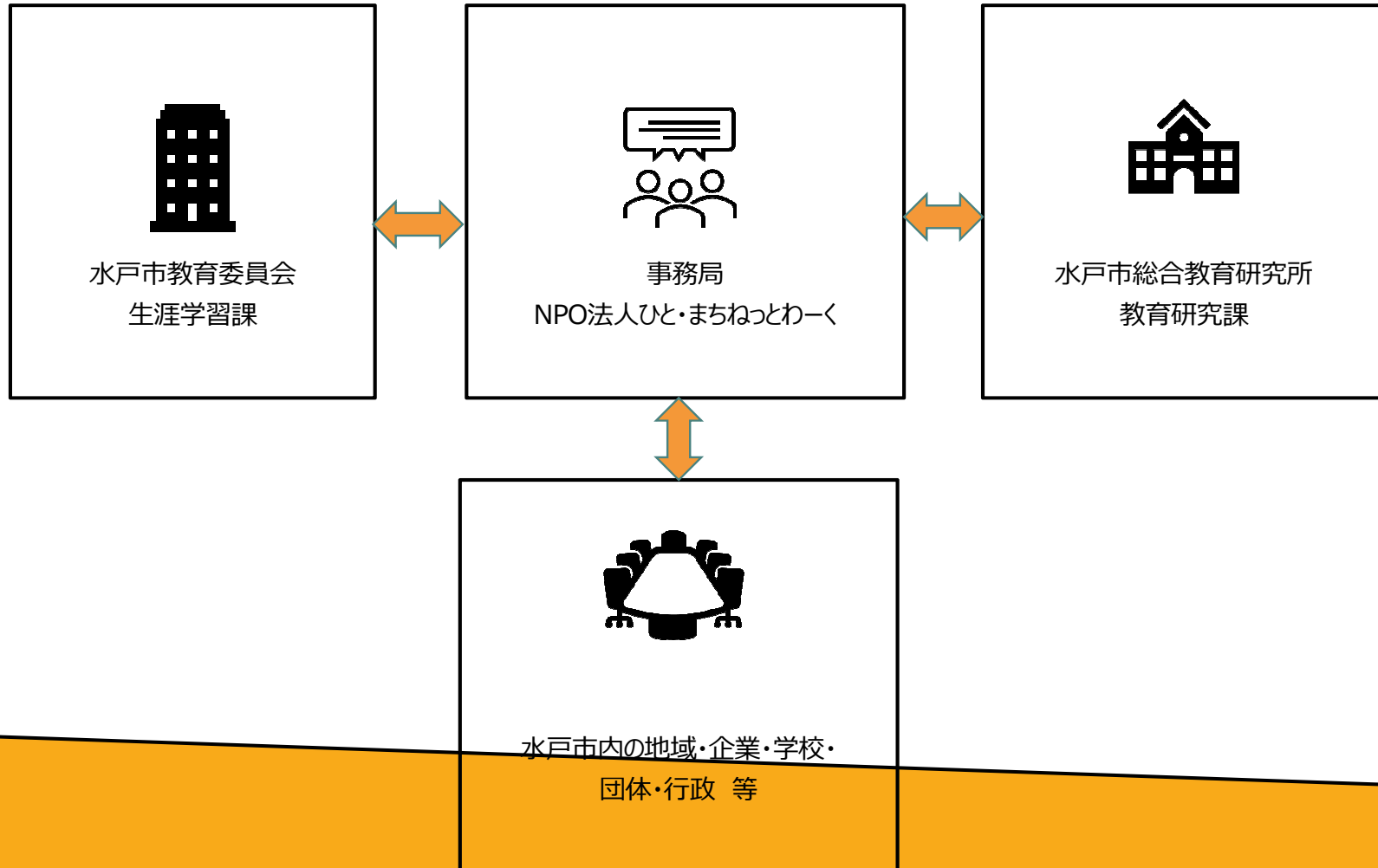
市民等によるサポートチームを結成する

子どもたちが水戸市内で体験活動をするための種類や場所の選定等については、大人のサポートチームが事前に関係機関と協議し、体験活動が可能な状況を設定する。その後、「活動の手引き」を作成し、学校などはそれらを基に計画を進める。

子どもたちが安全・安心に取り組める

学校や団体の事情に鑑み、子どもたちが安全に活動できるように、活動時にもサポートチームの体制を整える。

水戸市との協働



活動計画（令和5年度）

地域活動
(水戸市)

参加団体説明・協力依頼、活動メニュー作成

次年度向け協力依頼等

活動発表
モデル事例
集作成

令和5年度

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

活動団体（学校、
子ども会）

学校アンケート

準備活動（学校ごと都度）

モデル体験活動（小学校・中学校）

モデル体験活動（子ども
会等）

活動発表
モデル事例
集作成

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

予算（収支計画書）

	令和5年度	積算内訳	備考
収入			
水戸市補助金	500,000		
団体事業費	600,000		自己資金
収入合計	1,100,000		
支出			
通信運搬費	39,000	切手代 390×100回分	
印刷製本費	451,000	1980×100部=198,000（手引き） 2530×100部=253,000（事例集）	水戸市負担
賃借料	80,000	1000×20回=20,000（会議室使用料） 1000×6台×10団体=60,000（wifiレンタル）	一部水戸市負担
諸謝金	480,000	1000×8時間×6人×10団体=480,000（引率者）	
保険料	11,100	1850×6人（引率者年間分）	
消耗品費	38,900	事務用品・体験活動用品等	
支出合計	1,100,000		
収支差額	0		

**ご清聴
ありがとうございました**

NPO法人 ひと・まちねっとわーく